

世界湖沼会議に向けた 水環境保全に関わるESDの普及と推進

ひろげる助成

3年目

実践

ESD実践校・団体 **33件**

ESD実践活動の
延べ参加生徒 **10,374人**

今年度計画の達成度 **75%**

目標達成度 **80%**



卒業生による当時のまわづくりの話

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

若手スタッフによる参加者の小中学生への指導について。ESD実践活動の中で学びや気づきをいかに引き出せるかが昨年に継続して今後の課題。

■ 工夫した点

ESD実践地域の担当者、関係者と密に連絡を取り合い、対話を重ね、先方のニーズや確認事項をしっかりと把握し、より良い関係や活動になるように努めたこと。

課題

子どもたちが、小中学生の段階から地域の特色を引き出し、特色をいかす力を身に付けるための学習をし、主体的に各地域のESD実践活動やまちづくりに参加し取り組むこと。

目標

実践してきたESDの理念や活動への理解が深まり活動が普及すること。また若い世代への環境教育の重要性に対する理解が深まること。また各地域に協働事業が立ち上がること。

活動内容と成果

●ESD実践活動として茨城県牛久市・霞ヶ浦流域、秋田県八郎湖流域、福岡県北九州市、千葉県、島根県、岡山県、北海道にて、計33校、2団体実施、223回のESDの授業を実施 ●参加生徒延べ10,374人実施 ●ESD実践地域同士の交流会実施 ●茨城県牛久市内でESDプログラム実践の自然観察会「向台谷津田開拓」を年に2回実施 ●協働体制内部のヒアリング調査を33件実施。今後の継続希望100%、子ども達の関心度・自主性の向上100%を記録 ●ESD実践活動の事例集の作成、200部以上配布



牛久沼の自然観察(茨城)

全助成期間の活動を振り返って

3年間の助成活動により、3万人以上の小中学生がアサザ基金によるESD実践活動に参加した。「地域の自然を守っていきたい」「地域の課題に取り組んでいきたい」などの声をたくさんの児童・生徒から聞くことができ、この活動を続けていくやり甲斐や喜びを感じた。また、さらに「学校ではなく自分たちでもやりたい」という声が増えてきており、アサザ基金主催によるプロジェクトに参加する児童生徒も増加している。

| 活動地域 |  茨城県、秋田県、福岡県北九州市、三重県、岡山県、島根県、北海道

〒300-1222 茨城県牛久市南3-4-21

電話：029-871-7166

E-mail：asaza@jcom.home.ne.jp

http://www.asaza.jp/



曾根干潟の生き物調べ(北九州)



今後の展望

小中学生を対象とした環境学習において、アサザ基金のESDの理念をいかした環境保全と地域づくりが一体化した取組みをより一層充実させ、小中学生のそれぞれの地域社会への参加意識と関心を育むために、協働体制のさらなる強化を目指す。また参加している小中学生やその保護者から学校の授業以外の活動の要望の声も多く、今後は自然観察会などの自主イベントや事業を企画実施していく。